

令和元年度かいぼり結果概要報告【水元公園：睡蓮池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 11 月 4 日

【天 候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア 28 人・関係者約 30 人

2. 結果概要

【水 質】 かいぼり直後、COD、BOD、T-Nは減少しており、かいぼり後もこれらの値はかいぼり前より低い値となりました。T-Nはかいぼり前の半分以上まで減少しました。泥土の除去や池干しにより栄養塩が減少したと考えられます。T-Pは、かいぼりの前後であまり変化がなく、流入水の水質による影響などが考えられます。SSはかいぼり直後、減少しましたが、かいぼり後は増加し、透視度も低下しています。SSが増加した原因は、流入水の水質や池の環境による影響などが考えられます。

【水生生物】 重要種であるドジョウやスジエビは、かいぼり後も引き続き確認されています。また、外来種のカダヤシやミシシippアカミミガメはかいぼり後に確認されておらず、生物捕獲により外来種の数減らすことができたと考えられます。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.8.6	R2.3.12	R2.7.31
天候		晴	晴	曇
気温	°C	35.5	12.7	27.0
水温	°C	30	14.1	24.5
透視度	cm	30	23	18
ORP(酸化還元電位)	mV	+97	+401	+406
pH(水素イオン指数)		7.1	7.1	6.8
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	29	20	18
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	7.2	5.9	6.1
T-N(全窒素)	mg/L	4.27	1.31	1.52
T-P(全リン)	mg/L	0.250	0.231	0.248
DO(溶存酸素)	mg/L	2.1	9.1	2.2
SS(浮遊物質量)	mg/L	13	7	17

捕獲した生物と個体数

和 名	令和元年		令和2年度	重要種		注3 外来種
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020)注1	東京都RDB (2013)注2 区部	
	R1.7.27	R1.11.4	R2.7.20			
サカマキガイ		177				○
エビノコバン		4				○
カワリヌマエビ属	1	2				○
スジエビ	6	794	4		留意種	
アメリカザリガニ	9	776	3			○
コイ(飼育型)		2	5			
ゲンゴロウブナ		1				○
ギンブナ	3	1,667	51			
タイリクバラタナゴ		6				○
モツゴ	1	458	10			
ドジョウ		32	4	NT		
カダヤシ	25	3,299				○
カムルチー		6				○
ウシガエル	6	2,781	64			○
クサガメ		1			(DD)	○
ミシシippアカミミガメ		1				○

かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト2020 ※2 レッドデータブック東京2013
 ※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

